

海洋水産技術協議会ワークショップのご案内

水産・海洋関連の技術系団体で構成する海洋水産技術協議会では、構成団体との共催により2025年4月7日（月）に、以下のワークショップを開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

進む温暖化と水産業ワークショップ 「ブルーカーボン、魚種変動、洋上風力」

主催：海洋水産技術協議会

共催：（予定）（一財）東京水産振興会、（一社）漁業情報サービスセンター、
（一社）全国水産技術協会、（公財）海外漁業協力財団、
（一社）海洋水産システム協会、（公財）海洋生物環境研究所、
（一財）漁港漁場漁村総合研究所、（一社）水産土木建設技術センター、
（公社）日本水産資源保護協会、（一社）マリノフォーラム 21

日時：2025年4月7日（月）14：00～16：30

場所：豊海センタービル2階会議室（東京都中央区豊海町5-1）

開催形式：対面＋オンライン（Zoom）

<プログラム>

1. 開会挨拶／趣旨説明 長谷 成人（海洋水産技術協議会議長／東京水産振興会理事）

2. 講演 司会・黒萩真悟（漁業情報サービスセンター会長）

（1）農林水産省ブルーカーボンプロジェクトの最終成果報告：

藻場のCO2貯留量算定手法と藻場の維持・拡大技術の効果について

堀 正和氏

（（国研）水産研究・教育機構沿岸生態系グループ長）

（2）水産物の生産と消費をめぐる動き 和田 時夫

（全国水産技術協会専務理事）

（3）洋上風力発電をめぐる動き 長谷 成人

3. 意見交換

4. 閉会挨拶 川口 恭一（海洋水産技術協議会顧問／全国水産技術協会会長）

<開催趣旨>

気候変動の進行に対して、国連のグテーレス事務総長は地球沸騰化という言葉まで使って危機感を表明しています。それにもかかわらず、各地で戦火はやまず、米国のパリ協定再脱退など、気候変動の抑制・緩和とは逆コースの動きも顕著です。その間にも地球の温暖化は進み、日本の周辺水域は世界の中でも特に水温上昇が激しく、各地で多くの漁業・養殖業の関係者が窮地に立っています。そのような中で、漁業、漁村に新しい価値を生むブルーカーボンをいかに活かすのか、水温上昇の中で生産や消費はどのように変化していくのか、各地で進む洋上風力発電の案件形成に漁業者はどう対処すべきなのか、話題提供をするとともに、温暖化の時代に漁業、漁村がどう立ち向かうべきなのか話し合いたいと思います。

参加申込：参加申込の受付は（一財）東京水産振興会にお願いしています。お手数ですが、同振興会 HP の開催案内ページからお申込みください。



（一財）東京水産振興会 HP
開催案内ページ開設予定